

編集後記

平成23年度は、県営水道・工業用水道の給水開始50周年の節目の年となりました。この50周年を契機に、企業庁では「水道PR活動」と「50年史作成」の2つの取り組みを実施しました。

「水道PR活動」では、受水団体や工水ユーザーの方々との連携を旗印に、11月の「あいちの水道一ふれ愛フェスタ」をメインとして、親子水源地探検ツアーや水道PRキャラバン隊等の各種のイベントを催し、これらの企画・運営について貴重な経験を積むことができました。また、イベントの企画に関連して、デザインを一新した水の缶詰「あいちの水」、水道のキャッチコピー、イメージソング「あいちの水」やPRビデオなど、数々のPRアイテムを持つことができ、今後においても大いに活用できるものと考えています。

さて、2つ目の取り組みの「50年史」です。企業庁には平成5年1月発刊の「30年史」がありますが、この編纂当時には事業創設時から水道に携わってきた職員も多く残っており、これらの方々の体験に基づく挿話等も入っていて、今読んでも当時の苦労が感じられるような労作で、大変参考となる年史となっております。

一方、最近の県営水道では団塊世代の大量退職が続いており、今年度においても技術職員の約1割弱が退職する事態で、次世代の職員への技術の継承が喫緊の課題となっております。このため、50年史の作成にあたっては30年史以降の20年間の記録を保存する役割とともに、今後を担う中堅職員へ技術を継承することを目的に加え、記述内容に直接携わっていなかったメンバーも分担して執筆するなど、残存資料を読み纏めることから編集作業が始まりました。

また、当初の計画では30年史以降の20年間分を追録として作成する考えでしたが、今後を活用する場合の利便性を考えて、事業通史として連続して読める1冊に纏めることとしました。このため30年史における過去の記述は残すものの、総論や概説等の記述は全面的に編集し直すこととなり、執筆者や事務局メンバーにとって

は大変な作業量ともなりましたが、約1年間の作業でどうにか印刷できる段階に達することができました。これも50周年という節目を迎えた関係者の熱意と奮闘の賜物であるとともに、背景には各々に技術継承への危機感というか何かを次世代に伝えていかなければならないとの強い思いがあったものと感じています。

執筆にあたっては、その折々においてOBとなられた諸先輩の方々に、ご助言やご協力をいただいたことも大きな助けとなりました。また、平成13年度当時に40年史^{*}の準備のために集められた多くの資料について、今回大いに参考とさせていただきまして、深く感謝申し上げます。

このような経緯で本となる50年史ですが、短期間で十分な推敲がままならなかったことや、文書表現や編集方法等で未熟と感じられる点があると思います。限られた時間内の作業で、多くの未経験な職員が今残っている資料により読み解いて記述したものと、ご容赦いただければ幸いです。

最後に、この「50年史」が後年において県営事業の推移や過去の出来事を振り返る際に多く活用されるとともに、これからの若い職員にとって技術継承の一助とならんことを心より祈念いたします。

平成24年3月

愛知県営水道・工業用水道50年史編集委員会会長
企業庁技術監 田口晶一

※「40年史」は資料収集等がなされたものの製本にまで至らずに、要約版としてホームページに掲載しているものです。

編集関係者一覧（重複除く）

■編集委員会

会	長	技術監	田口	晶一	
副	会	長	水道部長	村瀬	善寿
委	員	愛知用水道事務所長	杉浦	誠治	
委	員	尾張水道事務所長	森本	尚也	
委	員	西三河水道事務所長	種村	充誉広	
委	員	東三河水道事務所長	阿部	孝徳	
委	員	水質試験所長	坪井	志計三	
委	員	水道部水道計画課長	津田	健司	
委	員	水道部水道事業課長	西脇	幹人	

■編集作業部会

水道部水道計画課	主	幹	原田	宏◎
〃	〃	主任主査	福井	光司
〃	〃	主任主査	杉本	靖文◎
〃	〃	主任主査	阪野	芳彦
〃	水道事業課	課長補佐	長谷川	勝正
〃	〃	課長補佐	宇野	和峰
〃	〃	課長補佐	平松	尚司
〃	〃	課長補佐	尾平	淳一
〃	〃	主任主査	山田	俊郎
管理部総務課	課長補佐		梅村	年幸

◎は、編集委員会事務局

■執筆者（編集委員、作業部会委員を除く）

水道部水道計画課	主	査	加藤	庸一
〃	〃	主査	菅沼	保
〃	〃	主任	岩城	健二郎
〃	〃	技師	上運天	陽次

	技 師	牧野 真補
水道部水道事業課	主 幹	八木 裕嗣
〃	主 幹	吉野 健
〃	主 任 主 査	吉村 宗俊
〃	主 査	石塚 友和
〃	主 査	稲垣 伸一
〃	主 査	神谷 信弘
〃	主 査	黒宮 正守
〃	主 査	宮永 隆志
〃	主 任	長澤 英春
〃	技 師	十倉 崇行
管理部 総務課	主任専門員	黒川 信也
〃	主任専門員	山田 智久
〃	主任専門員	湯浅 学
〃	主 査	片桐 礼博
〃 経営管理課	主 査	田村 真一
愛知用水水道事務所	課 長 補 佐	森井 秀幸
〃	主 査	阪野 正明
〃	主 査	水野 孝之
〃	主 任	三輪 信一
尾張旭出張所	主 任 主 査	岩本 隆志
尾張水道事務所	主 査	坂野 宏
〃	主 任	梶浦 重樹
〃	主 任	林 直樹
西三河水道事務所	主 査	石田 照一
〃	主 査	鈴木 寿幸
〃	主 査	村瀬 尚
東三河水道事務所	課 長 補 佐	矢野 眞智夫
〃	主 査	深谷 毅
水質試験所	所 長 代 理	池山 富二男

〃

所 長 代 理 下 元 妃 俊

■ その他協力者

愛水ボランティア

鎌田 猛

鶴見 俊彦

三輪 彰一

愛知県営水道 工業用水道五十年史

平成24年10月発行

発行 愛知県企業庁

〒460-8501

名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
